令和6年 太田市教育委員会2月定例会会議録

開会年月日	令和6年2月14日(水曜日) 午後 2時00分		
閉会年月日	令和6年2月14日(水曜日) 午後 2時30分		
開会場所	尾島庁舎 3階 教育委員会室		
	議 案 (件 名)	結 果	
議案第4号	太田市体育館施設条例施行規則の一部改正について	可決	
出席者	恩 田 由 之 (教育長) 池 田 光 男 (教育長職務代理者) 佐 藤 真 太 郎 (委員) 倉 嶋 慶 秀 (委員) 野 村 路 子 (委員)	欠席委員	
	教育部長、管理担当副部長、指導担当副部長、教育総務課長、学校施設管理課長、学校施設管理課主幹、文化財課長、生涯学習課長、学校教育課長、市立太田高校事務長、教育総務課総務係長 （文化スポーツ部スポーツ担当副部長、文化スポーツ部文化芸術担当副部長、文化スポーツ総務課長、スポーツ振興課長、スポーツ学校担当課長、スポーツ施設管理課長、文化課長、学習文化課長、美術館・図書館長、芸術学校担当課長、福祉こども部副部長、）こども課長、スポーツ施設管理課東地区スポーツ施設係長 （ ）は欠席者	書記・記録	田又係長代理
議 題 及 び 議 事 の 大 要			
会議録署名委員の指名	倉 嶋 慶 秀 委 員		
	野 村 路 子 委 員		

事務局：

皆様、こんにちは。本日は、令和6年教育委員会2月定例会となります。傍聴者は、1名となります。それでは教育長、進行をお願いいたします。

議長（教育長）：

太田市教育委員会2月定例会を開会いたします。

日程第2、会議録署名委員は、倉嶋委員、野村委員をお願いいたします。

次に、日程第3、教育長報告を申し上げます。

立春を過ぎ、春の気配を感じられます。中学校では私立高校の入試がほぼ終わり、高校は大学入試の時期となっています。子どもたちには夢に向かって頑張ってもらいたいと思います。

明日より市議会が始まります。情報収集等について大変お世話になりますが、よろしくお祈りいたします。予算については、市民や子どもたちの笑顔の実現のために、有効活用できるような計画を、今後もお願いしたいと思っております。

続きまして、教育部長より報告をお願いいたします。

教育部長：

お世話になります。先ほど教育長のお話にもありましたが、令和6年度当初予算案の概要が示されました。一般会計予算は909億円、前年比1.7%の増額であります。初めて当初で900億円を超えました。教育費は約119億円で昨年から10億円の減ですが、オープンハウスアリーナの建設による工事費の減が主な要因でございます。学校経営に係る費用は従来どおり確保される見込みでございます。主な事業ですが、親子方式の給食室に係る新田地区の給食室建設の継続事業と、新規で旭小学校の給食室の建設を予定しております。また、小学校照明のLED化、学校パソコンの有効活用のための授業支援ソフトの導入、金山の森キャンプ場の改修、市立太田高校野球場の照明改修などを予定しております。新年度予算案は2月15日から行われる3月の市議会定例会の最終日、3月15日に承認されれば決定というような見込みであります。市民の血税からなる予算の執行におきまして、最少の経費で最大の効果を上げて参りたいと思っております。本日もよろしくお祈りいたします。

議長（教育長）：

ありがとうございました。

次に日程第4、議事に入ります。本日は、協議案件が1件、事務報告が4件ございます。

はじめに、議案第4号「太田市体育施設条例施行規則の一部改正について」スポーツ施設管理課係長より説明願います。

スポーツ施設管理課係長：

「太田市体育施設条例施行規則の一部改正について」【提案理由説明】

議長（教育長）：

只今の説明につきまして、ご質疑等はありませんか。ないようですので、本案は提案のとおりご承認ということでお願いいたします。

続いて、日程第5、事務報告を取り扱います。

はじめに、「令和6年 太田市成人式～二十歳を祝う会～の実施結果について」生涯学習課長より報告願います。

生涯学習課長：

「令和6年 太田市成人式～二十歳を祝う会～の実施結果について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はありませんか。ないようですので、次の報告事項にうつらせていただきます。

「令和6年度 太田市立太田中学校入学者選抜における合格者状況について」学校教育課長より報告願います。

学校教育課長：

「令和6年度 太田市立太田中学校入学者選抜における合格者状況について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はありませんか。

池田委員：

太田市外、群馬県外からの志願者は、どこが多いのですか。

学校教育課長：

邑楽郡及び伊勢崎市、桐生市からの志願者が多くなっています。中でも邑楽郡の大泉町が多いと思います。県外は、今、県名のデータがないのですけれども、いずれ引越して太田市に在住するということで、2名の方が合格したということです。

池田委員：

選抜試験の割合（各検査項目等の比重）はどのようになっていますか。

学校教育課長：

調査書が4、県が作成した適性検査Ⅰが2、作文が2、面接が2ということになっております。これは公開されております。

池田委員：

どの学校からの志願者が多いのですか

学校教育課長：

太田中学校の所在地が、細谷地区となりますので、南中学校区の沢野小学校等からが多くなっています。また、電車通学というところで韮川地区等から受ける子どもたちも多いかと思えます。

池田委員：

それは、毎年同じような傾向なのですか。

学校教育課長：

だいたい毎年同じような傾向となっています。

池田委員：

街中に太田中受検の対策ゼミができていますよね。結構レベルが高くなってきているので、やはりそういうゼミに行かないと難しい問題なのではないでしょうか。

学校教育課長：

まず、太田中学校がめざす生徒像を描いています。それは、特別な塾で力をつけるというよりは、小学校生活をしっかり送る、そして授業をしっかり受ける、そういうところで、塾に行かなくても対策はできると考えております。

池田委員：

もう1校作るといった予定はないのでしょうか。（太田中学校は太田市の）西にあるので、東の方にもう1校、中高一貫校を作るといような方向性はないのでしょうか。

学校教育課長：

学校教育課としては、学校を作るという部分では、まだお答えすることはできないかと思えます。

池田委員：

分かりました。

議長（教育長）：

他にございますか。

佐藤委員：

今、話がありましたけれども、適性検査については市内にかなりの塾が太田中学校

用の対策講座というのを開いていらっしゃるって、だいたい子どもたちがそこに通って講座を受けたうえで受検をしているかと思います。私も知り合いの子が何人も受けているのですけれども、そういった子のほとんどが塾に通って対策をしているので、傾向と対策は全て把握されていて、だいたい似たような解答が出てくるのが多いと思います。似たような解答が出てきた時に、どうやって甲乙をつけているのでしょうか。

学校教育課長：

面接試験などでは、あきらかに塾で「こういう言い方をすれば良い」と教わってきたような子どもがおります。そのへんは、試験官となる太田中の先生方、そして教育委員会の指導主事等がしっかりと見抜くというか、できるだけ子どもの本音の部分を見取っていくようにしています。

佐藤委員：

実際、いろいろな物事に対しての思考力や独自の判断力があるかというところを見ているのだと思うのですけれども、そういったところに関してテンプレート化された解答が書いてあったとしたら、それは点数にカウントされないのでしょうか。それとも、ある意味最低限のこととしてカウントされて、プラスアルファで次の独自性といったところを上乗せしていくのでしょうか。

学校教育課長：

申し訳ないのですけれども、実際の採点等の基準についてのところは、県から公開しないようにと言われておりますので、お答えはできません。

佐藤委員：

分かりました。あともう一点なのですが、調査書と適性検査の結果なのですけれども、点数化されないと基準点が作れないため、どこまでが合格でどこからが不合格なのか決まらないと思うので、点数化されていると思います。その時に、男子と女子で倍率が1.6倍と2.1倍ということで、当然女子の方が高得点を取らなければ合格しないのではないかと予想されるのですが、そのへんの部分というのは、やはりかなり差があるのでしょうか。

学校教育課長：

そのへんの点数についても、大変申し訳ないのですけれども、公開できないということになっております。

佐藤委員：

分かりました。この点数が、以前の定例会でも男子と女子の割合についての話が取りざたされていましたが、進学先という部分で最終的に大学進学については差がないということでもよろしいですか。女子の方が、比較的優秀な大学に受かっている

ということがあるのか、少し気になっているのですけれども。

学校教育課：

今、手元にそのへんの情報がありませんので、後でお伝えしたいと思います。

池田委員：

もうひとつよろしいですか。この調査書はどなたが作るのですか。教育委員会が調査書の作り方について、「こういうふうにするように」といったことで、打ち合わせ等を行っているのでしょうか。

学校教育課：

調査書は、小学校の担任の先生が作っています。一人だけで作ってそのまま提出されるのではなくて、調査書作成委員会というのが各学校に設置されております。それからしっかりと協議されたうえで提出がされております。市教育委員会としましては、その調査書作成委員会が適正に行われるように、校長会等で指導しております。

池田委員：

この調査書作成委員会というのは、どういうシステム、組織なのですか。

学校教育課：

校長、教頭、学年主任、学年担当、そして、6年生になっていきますと教科担当制をしている学校が多いので、成績を出す、例えば体育の先生とか理科の先生とか、そこに携わる者が全て集まります。主に4回程度開かれるかと思います。はじめの時に成績についてのこととか、記述とか、そういうのもしっかりと校内で守って、最終的に出願の前に校長が最終チェックを行う、というシステムになっております。

池田委員：

10人位の組織で、トップが校長先生ということですか。

学校教育課長：

そうです。

池田委員：

教育委員会としては、校長先生に対して指導というか、こういうふうにするようにという打ち合わせをしているわけですね。

学校教育課長：

はい。

池田委員：

分かりました。ありがとうございます。

議長（教育長）：

他にございますか。ないようですので、次の報告事項にうつらせていただきます。

「和解についての専決処分について」学校教育課長より報告願います。

学校教育課長：

「和解についての専決処分について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。ないようですので、次の報告事項にうつらせていただきます。

「太田市立藪塚本町南幼稚園の廃止について」こども課長より報告願います。

こども課長：

「太田市立藪塚本町南幼稚園の廃止について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

倉嶋委員：

藪塚地区の待機児童の数を教えていただけますか。

こども課長：

太田市には待機児童はございません。

倉嶋委員：

最近だと2園が民営化されたと思うのですがけれども、最後の唯一の公立幼稚園をなくしてしまうと、藪塚地区は幼稚園が一つもなくなるということではよろしいですか。

こども課長：

幼稚園は、現在市内には私立の太田南幼稚園と太田仁愛幼稚園の2園だけとなっております。藪塚本町南幼稚園がなくなることによって、藪塚地区には幼稚園という名称の施設はなくなります。ただし、保育園、こども園が地区に8施設ございますので、そういった民間の保育施設の活用というものを、今後も期待しているところでございます。

倉嶋委員：

公設民営、指定管理等は検討されなかったのでしょうか。

こども課長：

こちらについて、もし公設民営でやる場合には、例えば認定こども園等を考えることとなります。そうした場合に、2号認定の子どもを預かることとなりますので、他の保育園等への影響ということも考えまして、廃園もやむを得ないということで考えております。

倉嶋委員：

こちらにも書いていただいていますけれども、この施設の今後の利用について、改めてお伺いいたします。

こども課長：

現在、放課後児童クラブ、こどもプラッツでの活用を検討しているということで、まだ、具体的に決まったということではございません。今後検討していくということでございます。

倉嶋委員：

分かりました。

議長（教育長）：

他にございますか。ないようですので、以上で終了します。事務局より連絡をお願いいたします。

事務局：

事務局よりご連絡申し上げます。教育委員会3月定例会を3月18日月曜日、午前9時30分から、尾島庁舎教育委員会室で開催します。よろしくお願いたします。以上です。

議長（教育長）：

以上をもちまして、本日の議事を全て終了し、教育委員会2月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。